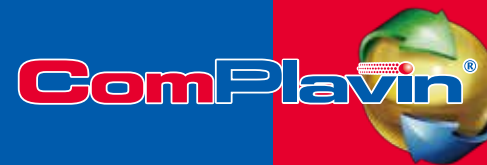




医師名・薬剤師名

施設名



コンプラビン[®]配合錠

を服用される虚血性心疾患の患者さまへ

ブラビックス アスピリン

コンプラビン



2

錠から

1
錠へ

【監修】帝京大学医学部 名誉教授 一色 高明 先生
上尾中央総合病院 特任副院長

コンプラビン®配合錠

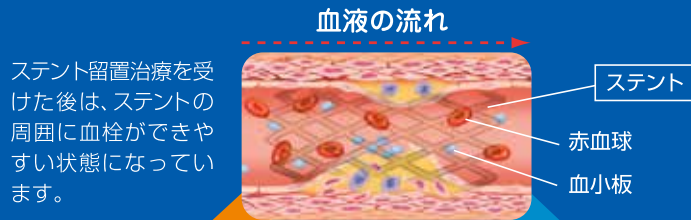
(プラビックス+アスピリン配合剤)

を服用される患者さまへ

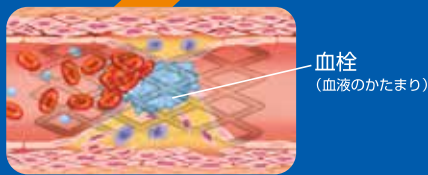
このお薬について

コンプラビン配合錠は、虚血性心疾患の患者さんでステント留置治療を受けられた後、ステント周囲に血栓ができやすい状態を改善し、血液の流れをスムーズにし、虚血性心疾患や脳梗塞、末梢動脈疾患の再発を予防するための大切なお薬です。

抗血小板薬のはたらき

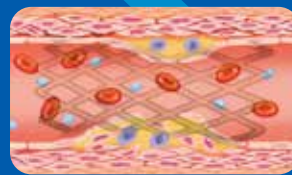


治療しないと…



ステントの周囲に血栓ができ、血管をふさいでしまうことがあります。

コンプラビンを服用すると…



血栓ができるのを防ぎ、血液を流れやすくします。

● 飲み忘れは禁物です!

ステント留置治療を受けた後は、特に血栓ができやすい状態になっていますので。服用を止めると、再発・悪化し、時には生命に重大な影響をもたらす場合があります。ご自身の判断で服用を中止したり、うっかり飲み忘れをしてしまうことは禁物です!

症状が軽くなったと思っても、医師からの処方が続く限りは必ず服用し続けてください。



● 飲み忘れに気づいた場合は？

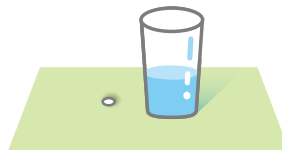
飲み忘れに気づいた時は、
原則その時に1錠服用*してください。

〈注 意〉

*飲み忘れに気づいた時間が、次の服用時間に近い場合には、飲み忘れた分は服用せずに、1回分とばして、次から時間通りに服用してください。飲み忘れ分と合わせて2錠を一度に服用することは決してしてはいけません！

症状が変わったり、不安になった場合は、医師または薬剤師に相談してください。

*空腹時は避ける事が望ましい。



● スtent留置治療を受けられて2ヶ月以内にコンプラピンを飲み始めた方は、以下の点に気をつけてください。

- ① 特にstent留置治療後の2ヶ月間は、まれに肝障害や血液障害などの副作用が起きることがあります。定期的に医師の診察を受け、血液検査をするなど、医師の指示に従ってください。
- ② 抜歯や手術などの際に血が止まりにくくなったり、他の薬との飲み合わせにより作用の強さが変わったりする場合があります。他の病院・診療科を受診する際には、このお薬を飲んでいることを必ず医師にお伝えください。



● いつもと違う症状に気づいたら

コンプラビンを飲んで、いつもと違う以下の症状に気づいたら、すぐに医師または薬剤師に連絡し、その指示に従ってください。

皮膚の症状 ぶつぶつがでる、皮膚が黄色くなる、紫色や赤色のあざができる

眼の症状 白眼が黄色くなる

気分が悪い 強い疲労感を感じる、はきけがする、食欲がなくなる、おなかが張る、うとうとする、意識が低下する

出血 鼻や歯ぐきから出血する

尿の変化 尿が茶色っぽくなる、尿に血が混じる

かぜのような症状 熱が出る(37°C以上)、さむけがする、のどが痛む

● このお薬の剤形と服用時の注意

コンプラビン配合錠(実物大)



「コンプラビン」と両面に印字されています。



表



裏

*医師・薬剤師の指示を守って服用してください。

*錠剤はPTPシートから取り出して服用してください。